

◎女性門下へ 祈りで幸の行進を

苦境を打開し、宿命を転換するにあたって、大聖人が強調されたのは、師弟の「思いを合わせる」ことでした。師匠と心を合わせる祈りこそ、無敵だからです。

具体的には“師匠ならどうされるだろう”“今こそ弟子として立ち上がる時だ”と、求道の心で唱題することです。

(中略)

師弟不二の信心で唱える題目こそ、真の師子吼です。その時、自分自身に本来具わる無量の智慧と力が自在に発揮できるのです。

(『女性門下へ 祈りで幸の行進を』 48 ページ)

◎池田名誉会長が贈る 勝利の人間学 第 56 回 未来部を励ます夏

まず「一人」を育てることから始まる。

少子化の時代だからこそ、ますます一人が大事になる。また、丁寧に心を配って、長い目で見守り、伸ばしていくことができる。

(創価新報 2014 年 7 月 16 日付)